

感染症発生動向調査 週間コメント

《疾病別 推移グラフ》

《月別 集計コメント》

第45週 (R2.11.2~R2.11.8)

■今週のトピックス

▽ 今週(2020年第45週:11/2-11/8)は全体的に感染症報告数が少ない状況が続いているが、感染性胃腸炎が増加している。カンピロバクター、サルモネラの報告も続くがノロウイルスが多くなった。インフルエンザはゼロ報告が続き、RSウイルス感染症は1人のみの報告。ヘルパンギーナ、手足口病は少なくなっている。

新型コロナウイルス感染者は一部地区で増加し、福岡県はまだ少ないが今後の流行状況にご注意下さい。

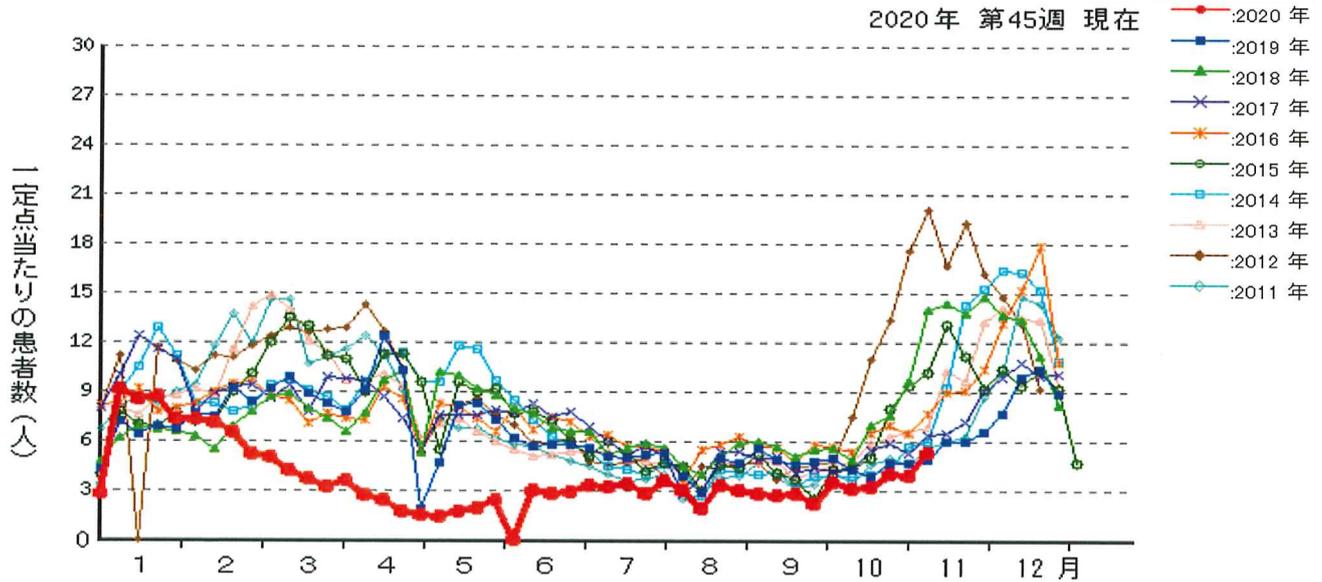
病名	定点報告数	前週比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全国
インフルエンザ	0	±0		0.00	0.01
RSウイルス感染症	1	+1	筑後1	0.01	0.12
咽頭結膜熱	80	242%	福岡56、筑後18	0.67	0.15
A群溶連菌咽頭炎	151	57%	福岡115、北九州28	1.26	0.78
感染性胃腸炎	629	134%	福岡371、北九州116	5.24	1.73
水痘	32	+8	福岡16、筑後13	0.27	0.18
手足口病	16	+3	福岡16	0.13	0.12
伝染性紅斑	0	-2		0.00	0.01
突発性発しん	89	105%	福岡48、北九州23	0.74	0.43
ヘルパンギーナ	8	-2	福岡4、筑後3	0.07	0.22
流行性耳下腺炎	4	-2	福岡2、筑後1	0.03	0.04
川崎病(MCLS)	3	-1	福岡3	0.03	
マイコプラズマ肺炎	2	-1	福岡2	0.02	0.06
クラミジア肺炎	0	±0		0.00	
細菌性髄膜炎	0	±0	福岡1	0.01	0.01
無菌性髄膜炎	1	±0		0.01	0.01
急性脳炎	0	±0		0.00	
急性出血性結膜炎	0	±0		0.00	0.01
流行性角結膜炎	5	-2	福岡3、筑後1	0.19	0.24
性器クラミジア感染症	20	-13	福岡13、北九州4	0.54	
性器ヘルペス	3	-4	筑後1、北九州1	0.08	
尖圭コンジローマ	5	+3	福岡3、北九州2	0.14	
淋菌感染症	12	+2	福岡8、北九州4	0.32	

※ 全数報告疾病 44週(定点報告数は45週分)

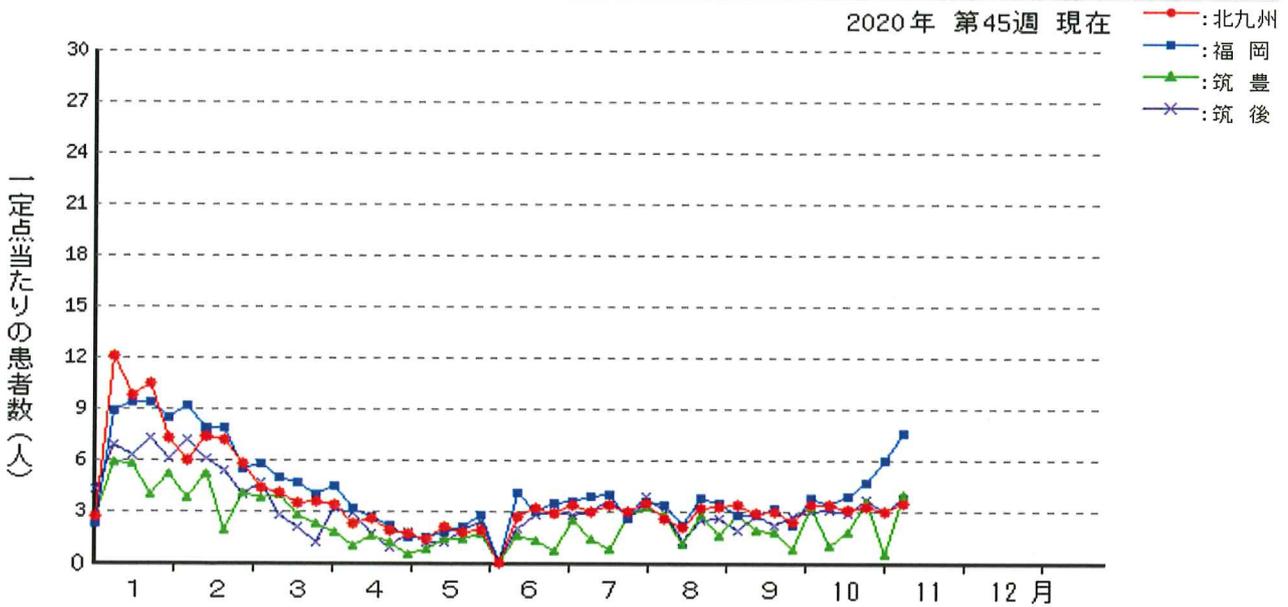
病名	定点報告数	全数報告数 (累計)	主な報告地区等	全国報告数(累計)
百日咳	0	1(115)	福岡1	13(2797)
風しん	0	0(4)		1(93)
麻疹	0	0(1)		0(13)
梅毒	3	3(266)	筑豊1、北九州1	64(4782)

感染性胃腸炎発生状況（福岡）（第45週 R1.12.30～R2.11.15）

■ 感染性胃腸炎（福岡県全域）



■ 感染性胃腸炎（地域ブロック別）



冬は特にご注意ください！

ノロウイルス

による

食中毒

食中毒は夏だけではありません。
ウイルスによる食中毒が
冬に 多発しています!!!

データでみると

ノロウイルスによる食中毒は、

◆患者数で第1位



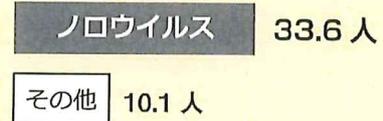
原因別の食中毒患者数（年間）

◆冬期に多い



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数（年間）

◆大規模な食中毒になりやすい



食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（平成26～30年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の

健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 毎日作業開始前に調理従事者の健康状態を確認し、責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの

手洗い

- 洗うタイミングは、
 - ◎ トイレに行ったあと
 - ◎ 調理施設に入る前
 - ◎ 料理の盛付けの前
 - ◎ 次の調理作業に入る前
 - ◎ 手袋を着用する前
- 汚れの残りやすいところを
 - ◎ 指先、指の間、爪の間
 - ◎ 親指の周り
 - ◎ 手首、手の甲

調理器具の

消毒

- 洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

ノロウイルスQ&A

検索

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・ リネン類などの

消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
 - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
 - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
 - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの

処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
 - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
 - ペーパータオル等（市販される凝固剤等を使用することも可能）で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
 - 拭き取ったおう吐物や手袋等は、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素消毒液に浸します。
 - しぶきなどを吸い込まないようにします。
 - 終わったら、ていねいに手を洗います。

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

製品の濃度	食器、カーテンなどの 消毒や拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L



- ▶製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

ノロウイルスによる感染について

感染経路	症状
<p><食品からの感染></p> <ul style="list-style-type: none"> ●感染した人が調理などをして汚染された食品 ●ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など <p><人からの感染></p> <ul style="list-style-type: none"> ●患者のふん便やおう吐物からの二次感染 ●家庭や施設内などでの飛沫などによる感染 	<p><潜伏時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ●感染から発症まで24～48時間 <p><主な症状></p> <ul style="list-style-type: none"> ●吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ●乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

事 務 連 絡
令和 2 年 10 月 2 3 日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課

季節性インフルエンザワクチンの供給について（更新情報）

今年度の季節性インフルエンザワクチン（以下「ワクチン」という。）の供給に関して、下記の事項を予防接種法（昭和 23 年法律第 68 号）上の実施主体である市区町村や医療機関等の貴管内関係者へ周知するとともに、ワクチンが円滑に流通されるよう、関係者との連携に努めるようお願いいたします。

記

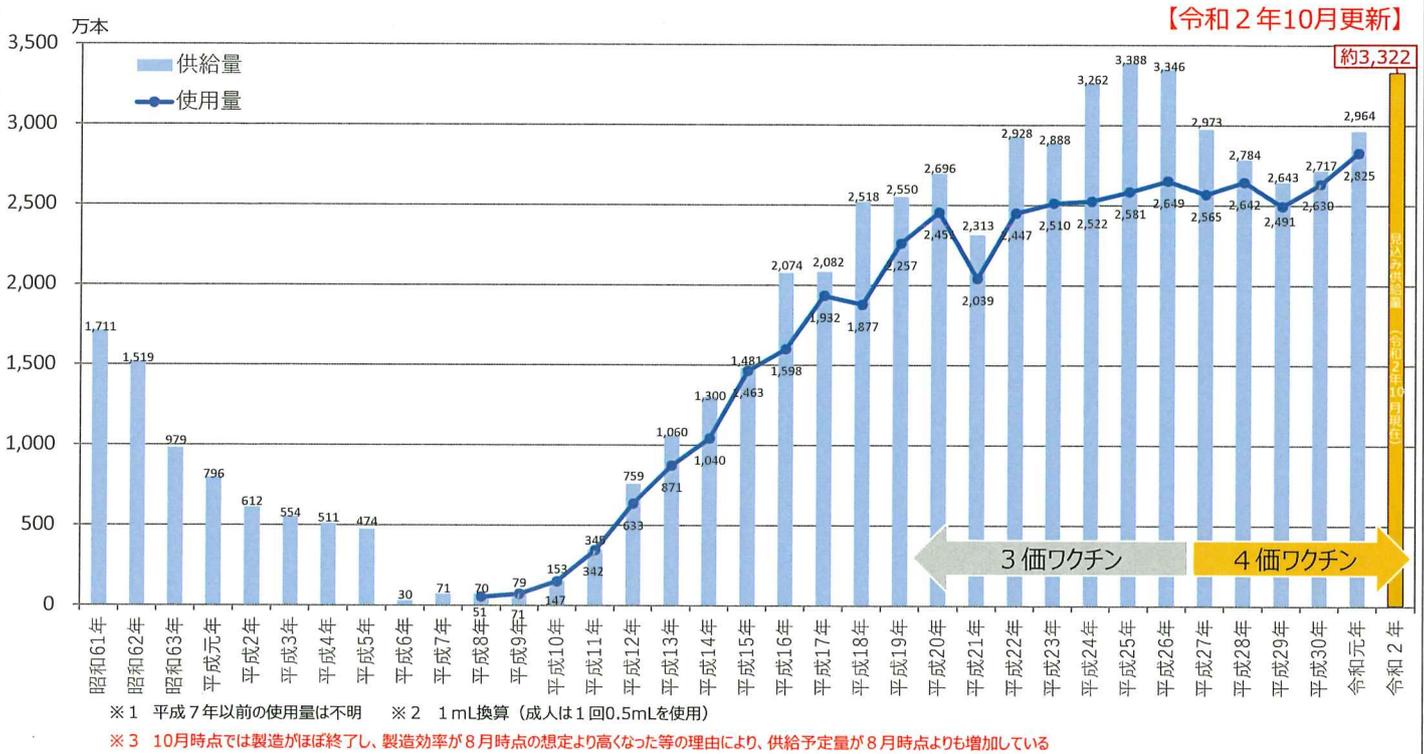
1. 今年度のワクチンの製造予定量について、製造販売企業から更新された情報（令和 2 年 10 月時点）の提出を受けました。最新の製造予定量は約 3,322 万本（1 mL を 1 本に換算。別紙 1 参照。）の見込みで、本年 8 月時点の製造予定量と比較して約 140 万本多くなっています。
2. 予防接種法に基づく定期接種対象者以外の方に対して、今年度は 10 月 26 日まで接種をお待ちいただくよう厚生労働省から協力をお願いしているところですが、10 月 26 日以降も 12 月上旬にかけてワクチンは順次出荷される予定（別紙 2 参照）です。

「季節性インフルエンザワクチンの供給について」（令和 2 年 9 月 9 日付け医政経発 0909 第 1 号、健健 0909 第 1 号、健感 0909 第 3 号 厚生労働省医政局経済課長、厚生労働省健康局健康課長、厚生労働省健康局結核感染症課長連名通知）を踏まえて、引き続きワクチンの安定供給にご協力をお願いいたします。

2020/21シーズンのインフルエンザワクチンの供給について

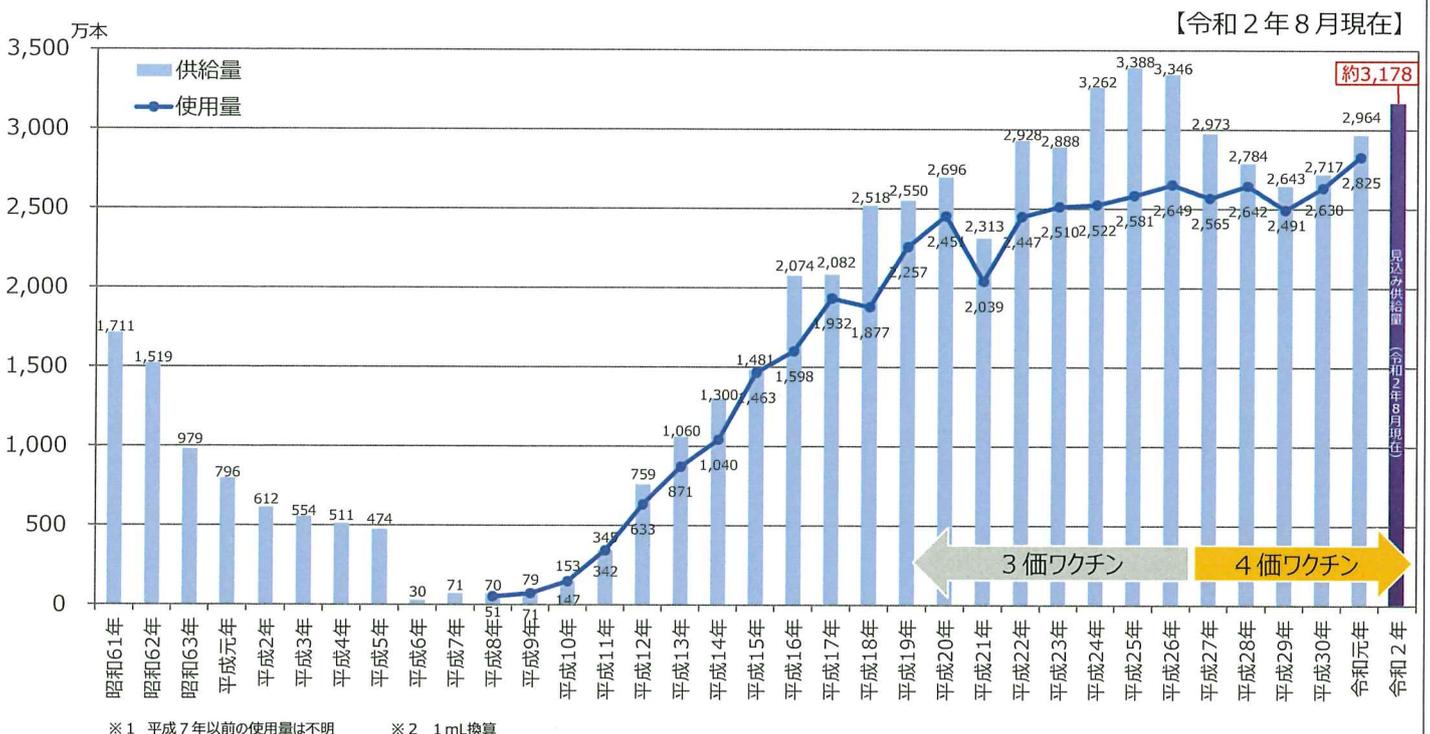
別紙 1

○ 2020/21シーズンに供給されるインフルエンザワクチンの見込み量は約**3,322万本**と、昨年度から約**12%**増加し、4価ワクチンに変更された平成27年以降で最大の供給量となる見込み。統計のある平成8年以降、最大だった昨年の使用量(2,825万本)と比較すると、約**18%**多い。



2020/21シーズンのインフルエンザワクチンの供給について (その1)

○ 2020/21シーズンに供給されるインフルエンザワクチンの見込み量は約**3,178万本**と、昨年度から約**7%**増加し、4価ワクチンに変更された平成27年以降で最大の供給量となる見込み。統計のある平成8年以降、最大だった昨年の使用量(2,825万本)と比較すると、約**12%**多い。

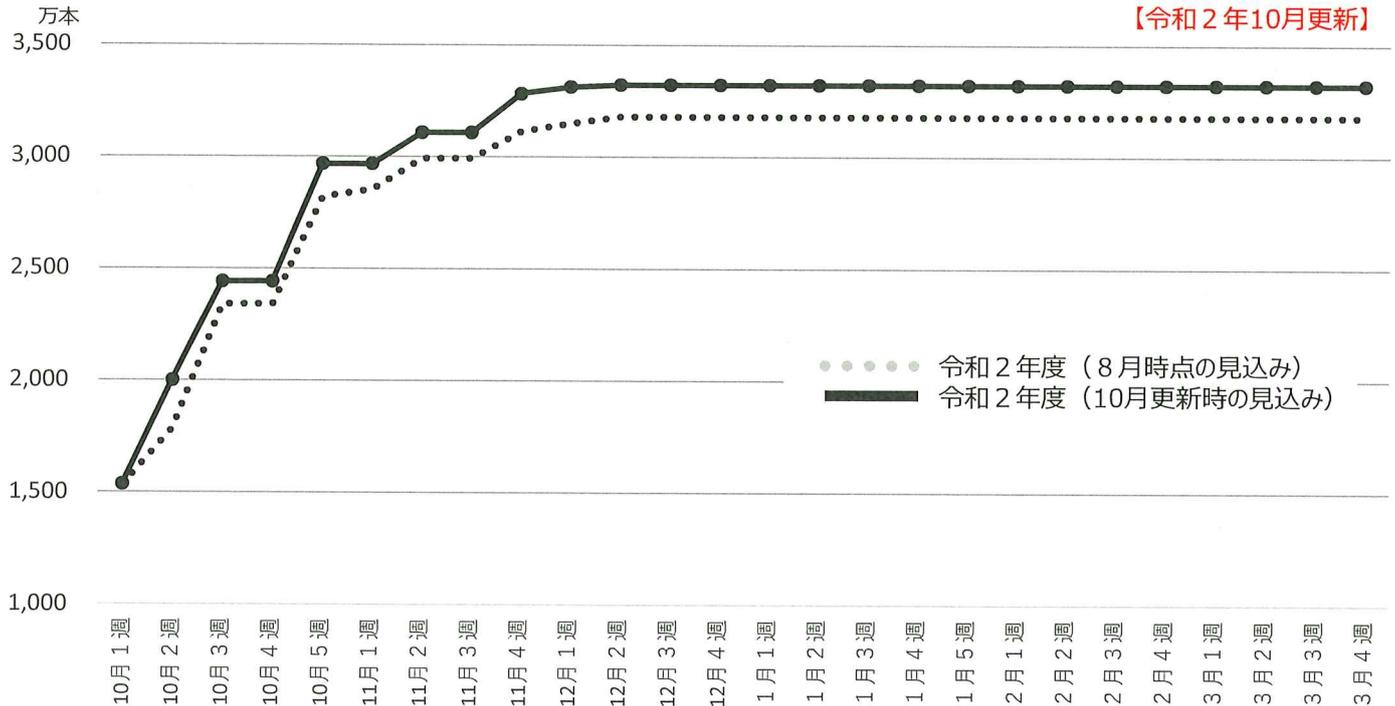


2020/21シーズンのインフルエンザワクチンの供給について

別紙 2

○ 国家検定に係る省令の改正により、製造から出荷までの期間が短縮され、接種開始（10月1日）時点の供給量も含め、全体的に出荷が早まる見込み。

【令和2年10月更新】



注1) 供給量は、いずれも1mL換算。

注2) 10月時点では製造がほぼ終了し、製造効率が8月時点の想定より高くなった等の理由により、供給予定量が8月時点よりも増加している。また、供給時期も8月時点よりも早まっている。

【季節性インフルエンザワクチンの供給本数】(全国)

今年度の出荷量と昨年度の出荷量

今年度		昨年度	
10/02 時点	1,540 万本	10/04 時点	1,230 万本
10/09 時点	1,720 万本	10/11 時点	1,610 万本
10/16 時点	2,450 万本	10/18 時点	1,910 万本
10/23 時点	2,450 万本	10/25 時点	2,080 万本
10/30 時点	2,980 万本	11/01 時点	2,300 万本
11/06 時点	2,980 万本	11/08 時点	2,630 万本
		最終出荷量	2,960 万本

(令和2年11月10日現在の速報値)